



BASTL

INSTRUMENTS

## IKARIE TWIN AUTO FILTER



**ENSPEA**  
**XBASTL<sup>1</sup>**

# IKARIE

## 取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

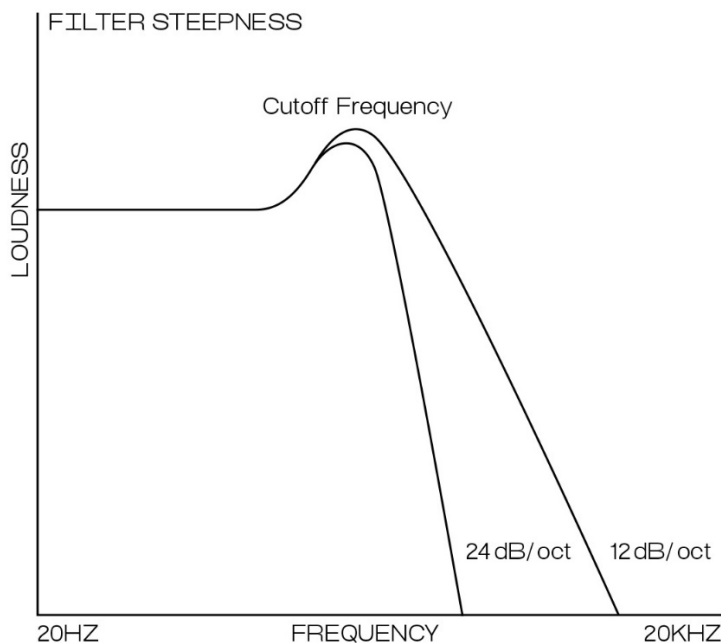
# Ikarie Manual:

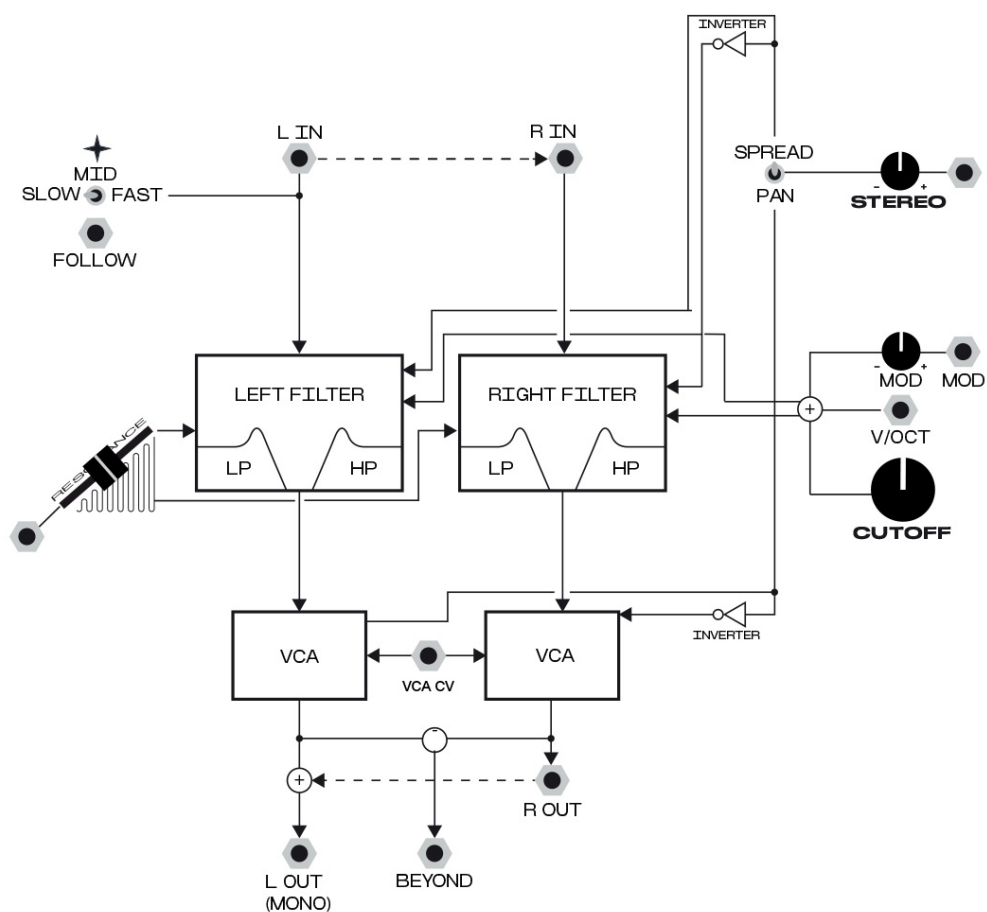
Ikarie のすべてのコントロールは相互に影響を及ぼします。とてもインタラクティブでオーガニックな回路デザインとなっており、すべての設定が重要です。デフォルトのクリーン設定は、すべてのノブを中央位置に配置し、レゾナンスフェーダーを最小にすることです。

## TWO FILTERS

Ikarie には 2 つのフィルターが装備されています。左右のチャンネルにはそれぞれの入力と出力からアクセスできます。これは、ステレオ信号のフィルタリング、またはモノフォニックのマルチピーク・レゾナント・フォルマント・フィルタリングに最適です。

2 つのフィルターは並行に配線されていますが、カットオフのカーブを高めるために直列に配線することもできます。各フィルターは 12dB / oct の急勾配です。ただし、L IN で信号をフィルタリングする場合、LOUT を RIN にルーティングし、R OUT から出力すると、24 dB / oct の急峻なフィルタリング効果が得られます。





## ! POWER !

リボンケーブルをこのモジュールに接続する前に、システムの電源を切ってください。リボンケーブルの極性を再確認し、どの方向にもずれていないことを確認してください。ケーブルの赤い線側は、モジュールとバスボードの両方で-12Vレールと一致している必要があります。

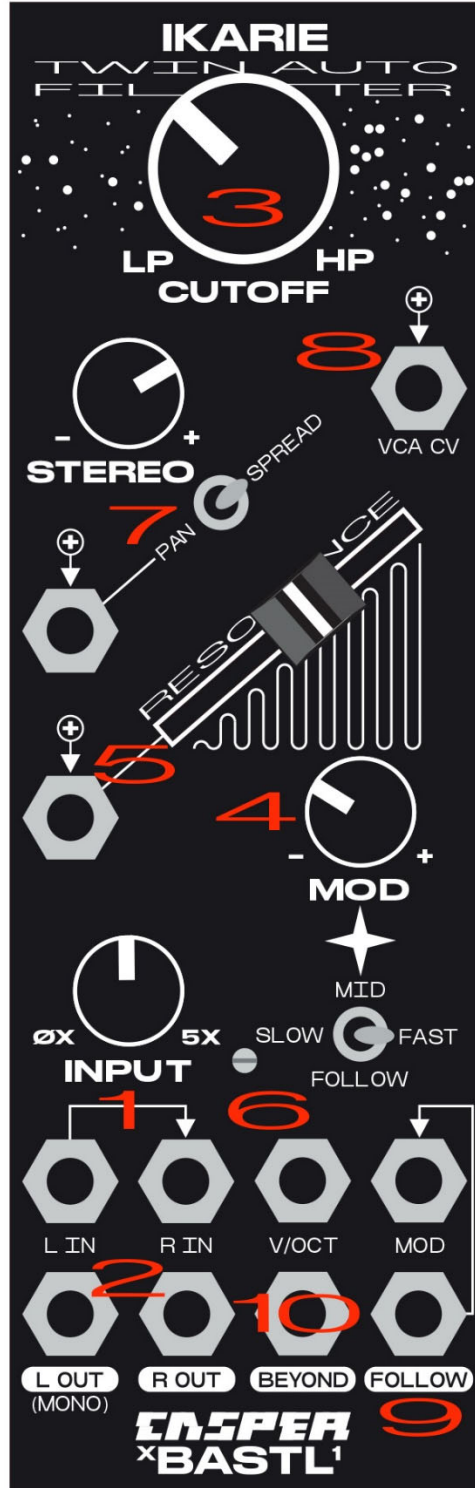
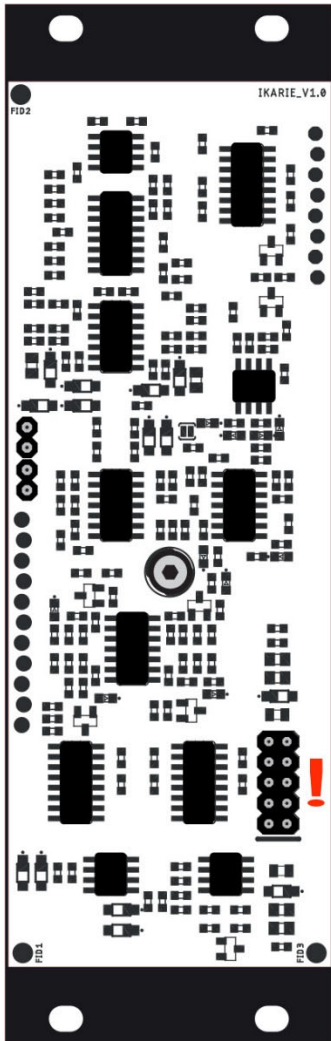
! 以下を確認してください

- ・ 標準的なピン配置ユーロラックバスボードに接続しようとしているか？
- ・ そのバスボードには+ 12V と-12V のレールがありますか？
- ・ 電源レールの電流容量は十分ですか？

この装置には保護回路がありますが、電源の接続ミスによる損傷については責任を負いかねます。

FRONT / BACK

FRONT  
BACK



## 1 INPUTS – L IN, R IN

信号を L IN に接続すると、別の信号を R IN に接続しない限り、信号は R IN にノーマライズされます。INPUT つまみを回して入力レベルを上げます。Ikarie は入力レベルに非常に敏感であり、フィルターの特性は INPUT のさまざまな設定で大きく変化します。サイレントから 5 倍のゲインまで入力ゲインを調整できる Ikarie は、設定によってクリーンでバランスの取れたレゾナンスを提供し、低音を失わないオーバードライブされたキャラクターを提供します。そしてハイパス設定でレゾナンス・スイープをキープできます。入力ゲインを使用して最適な動作レベルに増幅することができます。

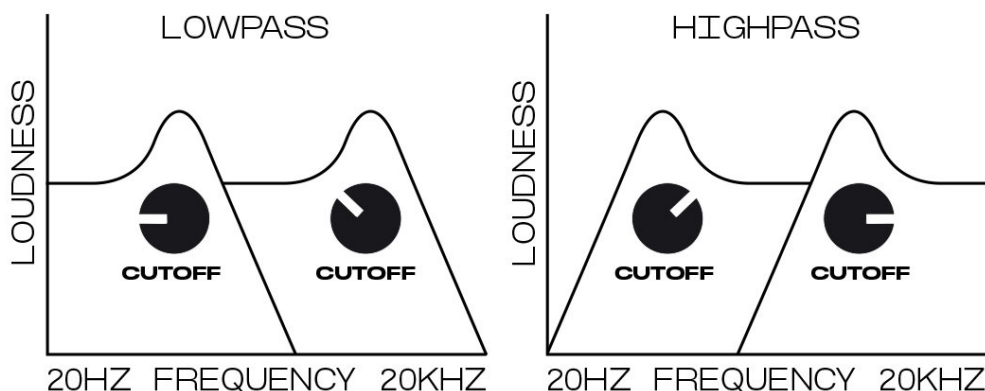
## 2 OUTPUTS – L OUT, R OUT

モノラル接続の場合は、L OUT(MONO)のみを使用します。ステレオ接続の場合はケーブルを L OUT と R OUT の両方に接続します。

L IN に入り、L OUT のみを出力すると、2 つのレゾナンスピークを持つ平行・フィルタリングが行われます。

## 3 CUTOFF

CUTOFF ノブは、中央位置でオープンフィルターを提供し、CCW (反時計回り) に回すと LP (ローパス) フィルタースイープを、CW (時計回り) に回すと HP (ハイパス) フィルタースイープをレンダリングします。LP モードは周波数スペクトルから高周波数をカットし、HP モードはスペクトルから低周波数をカットします。注意：フィルターは CV - MOD、V / OCT、または STEREO で電圧制御されているため、設定によってノブの中心位置が常に一定とは限りません。



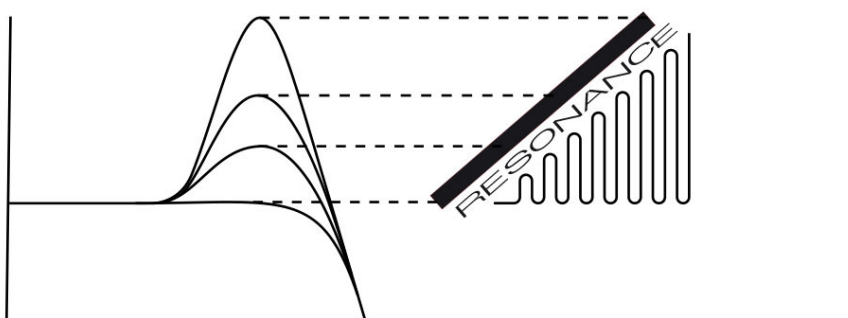
## 4 MOD

MOD 入力を使用して、左右両方のフィルターの CUTOFF をタンデムに制御します。MOD アデニューバーターノブは、センターポジションにあるときはモジュレーションを通過させません。CW に回すと、CUTOFF のモジュレーションが正の方向に開き、CCW に回すと、信号が反転し、CUTOFF が反対方向にモジュレートされます。モジュレーションを使用しない場合は、MOD ノブを中央に配置します。FOLLOW 信号（セクション 9 を参照）は MOD 入力ジャックにノーマライズされていることに注意してください。これは、別の信号を MOD 入力に接続しない限り、フィルターはすでに FOLLOW によって変調されていることを意味します。

## 5 RESONANCE

レゾナンス・フェーダーは、カットオフ周波数を部分的、または完全にセルフオシレートさせることにより、その周波数を強調させることができます。その結果、対応する周波数スペクトルに共振ピークが生じます。追加するレゾナンスが多いほど、特に CUTOFF 周波数を変調する場合のサウンドへの影響が大きくなります。フィルタの入力に信号がない場合、または INPUT が完全に CCW になっている場合、Ikarie は自己発振し、正弦波形のオシレーターとしても利用できます。RESONANCE のレベルが高くなると、フィルターは不安定なレゾネーターになり、ping されたサウンドに便利に活用できます。リズムカルなトリガーパルスで L IN または R IN に接続し、INPUT ノブを上げて、何が起るかを聞いてみましょう。

レゾナンスは CV でもコントロールできます。ケーブルを RESONANCE 入力に接続するまで、フェーダーはメインの RESONANCE コントロールとして機能します。CV 入力の使用を開始するとすぐに、フェーダーは入力電圧のアッテネーターに変わります。この場合、フェーダーは変調信号が到達できる共振レベルの上限を設定します。



IP : 誇張された外部レゾナンス（フィードバック）を実現するために、出力の 1 つ（R OUT または L OUT）を入力の一つ（L IN または R IN）に接続することも可能です。

## 6 V/OCT

V / OCT 入力を、両方のフィルターを同期して変調する 2 番目のモジュレーション入力として使用できます。この入力はスタンダード volt/oct に対応しています。変調信号に 1 ボルトを追加すると、CUTOFF 周波数が 2 倍になります（つまり、フィルターを 1 オクターブ高く調整します） V / OCT 入力のスケーリングは微調整可能です。 V / OCT ソース用にキャリブレーションするには、RESONANCE を最大に、INPUT を最小に設定し、R OUT を出力を聴いてクロマチックチューナーで調整してください。ソースから V / OCT 入かに 1 ボルト/ 1 オクターブを追加すると、自己発振トーンが 1 オクターブ高くまたは低くなります。得られたピッチがフラットな場合は、トリマーを CW に回します。シャープな場合は CCW に回してください。

## 7 STEREO

STEREO セクションでは、ステレオで使用する場合はステレオエフェクトを、モノラルで使用する場合はデチューンされたフォルマントフィルタリング/リングモジュレーションを構成できます。デフォルトの状態（エフェクトなし）では、STEREO ノブを中央に設定してください。STEREO スイッチが SPREAD にある場合に、STEREO ノブを CW に回すと、左側のフィルターのカットオフ周波数が高くなり、右側のフィルターのカットオフ周波数が低くなります。CCW にすると逆の効果になります。

STEREO スイッチが PAN 設定の場合、STEREO ノブを右に回すと左フィルターの出力レベルが下がり、左に回すと右フィルターのレベルが下がります。これは基本的なパンニングであり、ステレオで聞くときに音源を左から右に移動させます。ただし、L OUT のみをリッスンしてモノラルで使用する場合、ステレオノブは L 入力と R 入力間のクロスフェードとなります。

ケーブルを STEREO ジャックで接続すると、STEREO ノブの機能がアッテネーターに変わります。アッテネーターは適用されるモジュレーションの量を制御します。STEREO ノブを中央から CW に回すと、入力の CV がステレオフィールドに反転せずに影響を与え、CCW に回すと反転効果があります。

## 8 VCA CV

この独自のフィルター・トポロジーは、フィルターごとに VCA ペアを使用して、LP モードと HP モードを切り替えています。これにより、フィルターの後に VCA（電圧制御アンプ）を使用して最終的なラウドネスを制御することも可能になっています。VCA CV 入かに信号がルーティングされていない場合、フィルターは通常のレベルで動作します。ケーブルを差し込むと、入かに正の CV が追加されると、フィルターが無音になり、ラウドネスが増加します。エンベロープまたは内部の FOLLOW 出力を使用して最終的なラウドネスを変調し、誇張されたゲート効果を実現するのに役立ちます。この入力は、0 ボルト（無音）から 5 ボルト（ユニティゲイン）まで応答します。

## 9 FOLLOW

エンベロープ・フォロワー・セクションは、左チャンネル(L IN)の入力で信号を聴きとり、その信号を入力信号のラウドネスに応じたコントロール・ボルトテージに変換します。つまり信号からエンベロープを抽出することができます。

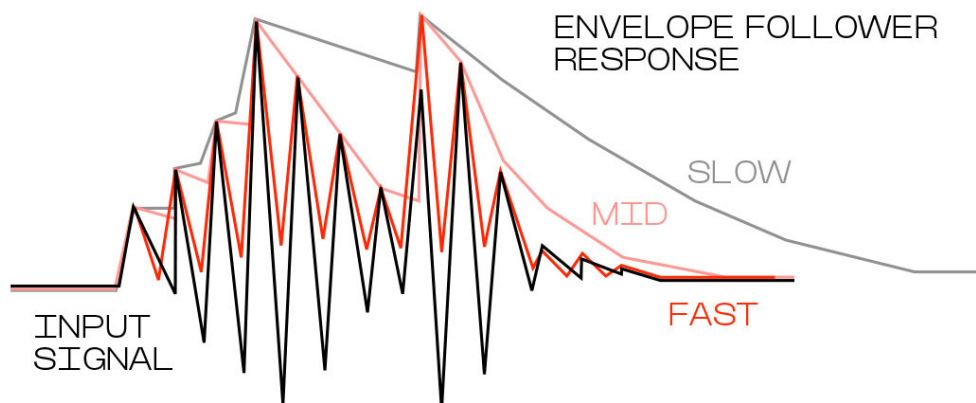
FOLLOW スイッチは、3つの応答設定のいずれかに設定できます。SLOW 設定は自然なリリースでポンピング効果が得られます。MID 設定はよりタイトで、ミッドレンジ信号で最適に機能します。FAST 設定は全波整流器に似ています。スルーがほとんどなく、波形フィルタリングにハードエッジを追加する場合に特に便利です。

FOLLOW 出力は、CUTOFF を制御するフィルターの MOD 入力にノーマライズされています。これは正にギターペダルのオートフィルターまたはオートワウと同じ効果を得る場合に便利です。この機能を利用して、サンプル、物理モデリング、ライブインストゥルメントなど、従来のエンベロープを使用してシンセサイズされない信号に対して、エンベロープ駆動のフィルタースイープを実行できます。

FOLLOW セクションは【左チャンネルのフィルター入力】のみをリッスンするため、右側の入力の信号をサイドチェインフィルター処理するために使用できます。

FOLLOW 出力は、Ikarie のどこにでもパッチを適用して、任意のパラメーターに動的な効果を与えることができます!!

FOLLOW は、INPUT ノブのコントロール後に入力を聴きとるため、INPUT ノブを調整すると、FOLLOW 出力の振幅にも影響があります。



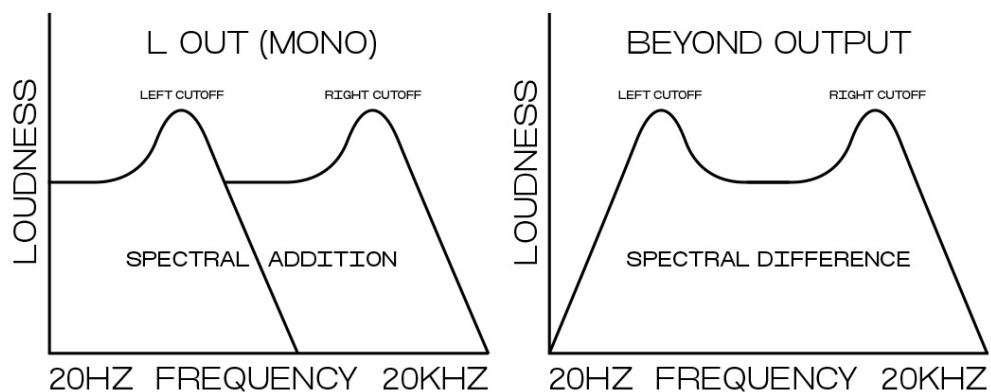


## 10 BEYOND

2つのフィルター信号は減算されるため、その結果スペクトルも減算されます。したがって、2つのカットオフ周波数の間の信号しか聞こえません。これは特殊なバンドパスフィルターを構成し、SPREADモードのSTEREOノブがバンドパスフィルターの幅を定義します。フィルターの両方の境界カットオフ周波数は、RESONANCEが使用されているときに共振ピークを持つ可能性があります。このフィルタートポロジーは、ツインピークフィルターと呼ばれることがよくあります。

BEYOND出力は、L OUTと組み合わせて使用して、シュールなステレオイメージを作成したり、任意のフィルターパラメーターをモジュレートしたりすることができます。

BEYOND出力にPANモードでSTEREOモジュレーションを使用すると、フィルターの出力でリングモジュレーター効果を得ることができます。遅いCVを使用してトレモロ効果を実現したり、オーディオレート信号を使用してリングモジュレーショントーンを実現できます。



# IKARIE PATCH TIPS

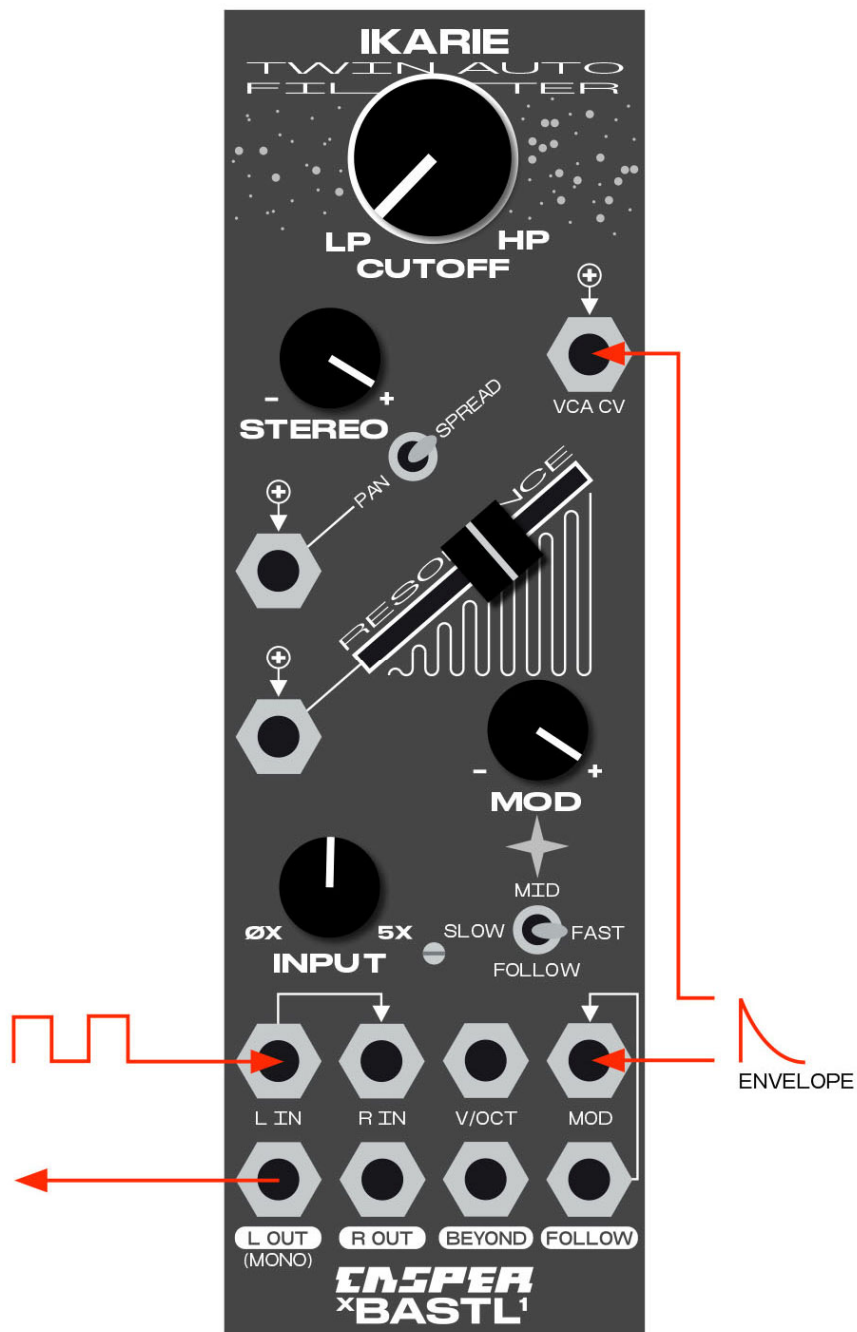
## ★FORMANT FILTERING

フィルターがスペクトルをスイープするときに、2つの周波数を強調するモノフォニックのフィルタリング技術は、声、喉のようなサウンドを作るのに適しています。



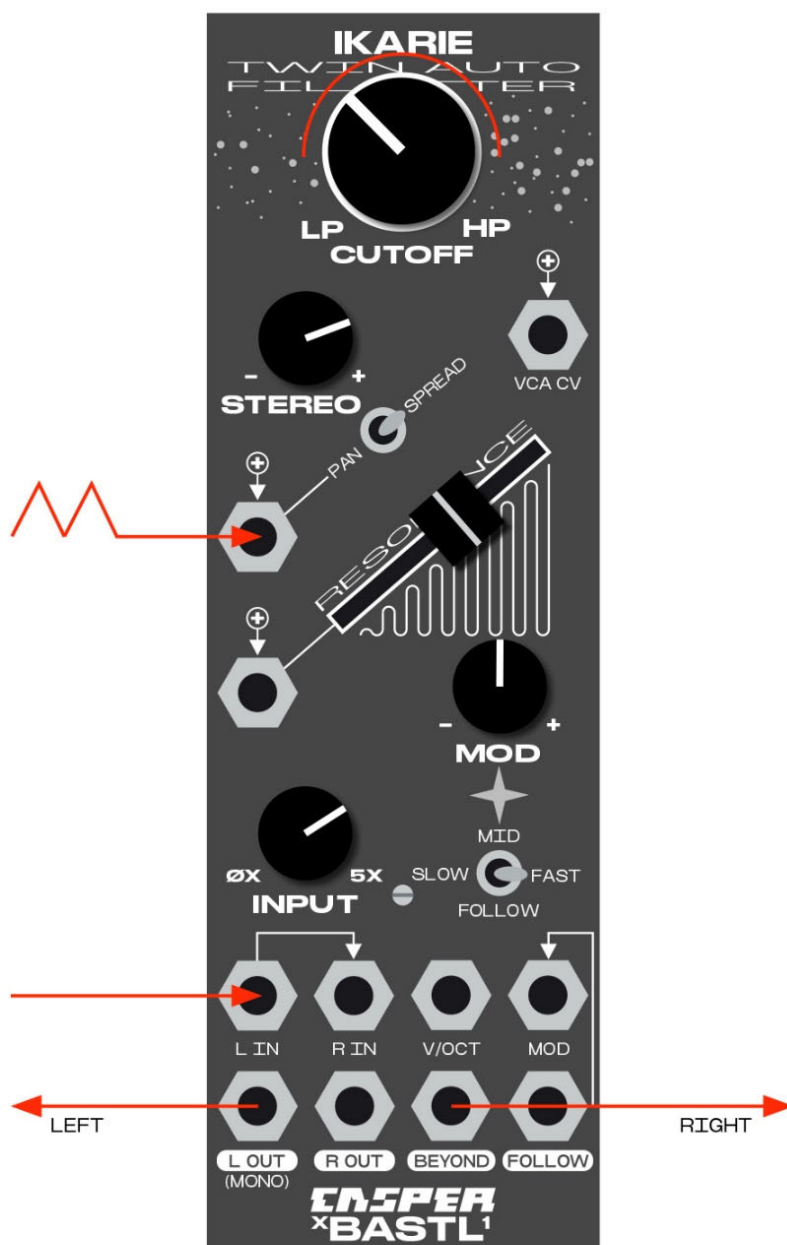
## ★QUAD ACID

1つのノブを回すだけで4つのレゾナンス・スイープをもつフォルマント・フィルタリングのように動作します。カットオフ周波数が離れるため、独立したスイープとして認識されますのが特徴的です。



## ★BEYOND STEREO

L OUT と BEYOND 出力をステレオペアとして使用し、上記のテクニックのいくつかを使用します。L OUT は両方のフィルターの周波数スペクトルの合計となり、BEYOND は差となります。それらの音が物理的な音響空間で衝突すると、奇妙な方向感覚が演出できます。ステレオをオーディオレートでモジュレートして、さらに実験的なステレオのディープな世界を探求できます。



## ★PINGING & FM PINGING

短いパルスやノイズバーストでレゾナンス回路に与えて、Ikarie をパーカッシブな声のように使用できます！INPUT レベルはサウンド作成に大きな役割を果たします。R OUT または BEYOND 出力を、SPREAD モードで MOD または STEREO 入かにパッチして、メタリックなエイリアンノイズを作成できます。FOLLOW 出力を使用して RESONANCE をモジュレートし、サウンドの減衰をさらに微妙に制御します。RESONANCE をフルに設定し、ping されたエンベロープフォロワー信号のみを使用して、出力の VCA CV ジャックをコントロールすることもできます。



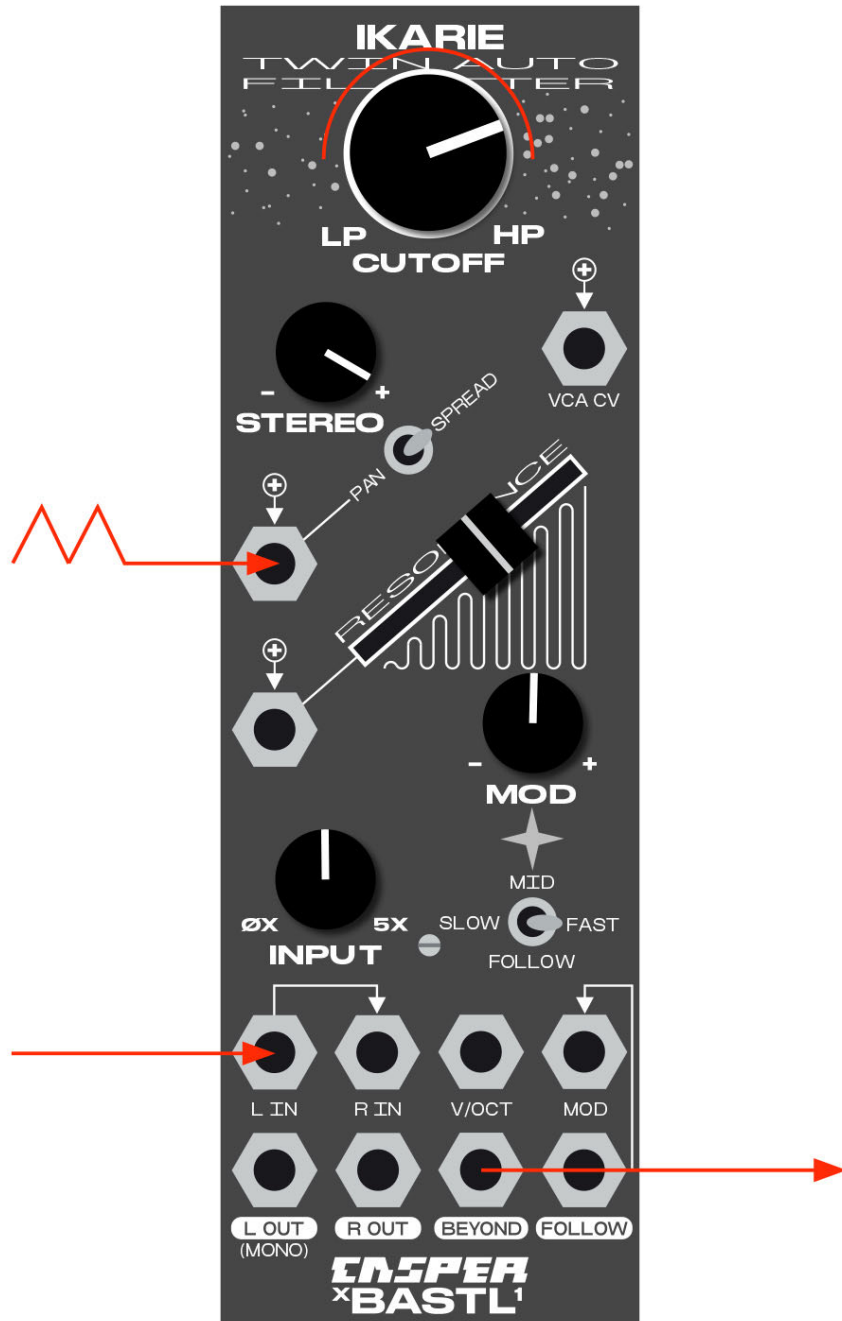
## ★SELF OSCILLATION

外部フィードバックを作成して、Ikarie を混沌とした不安定なノイズ/トーンジェネレーターとして使用します。 何でもありです-ただ探索してください！



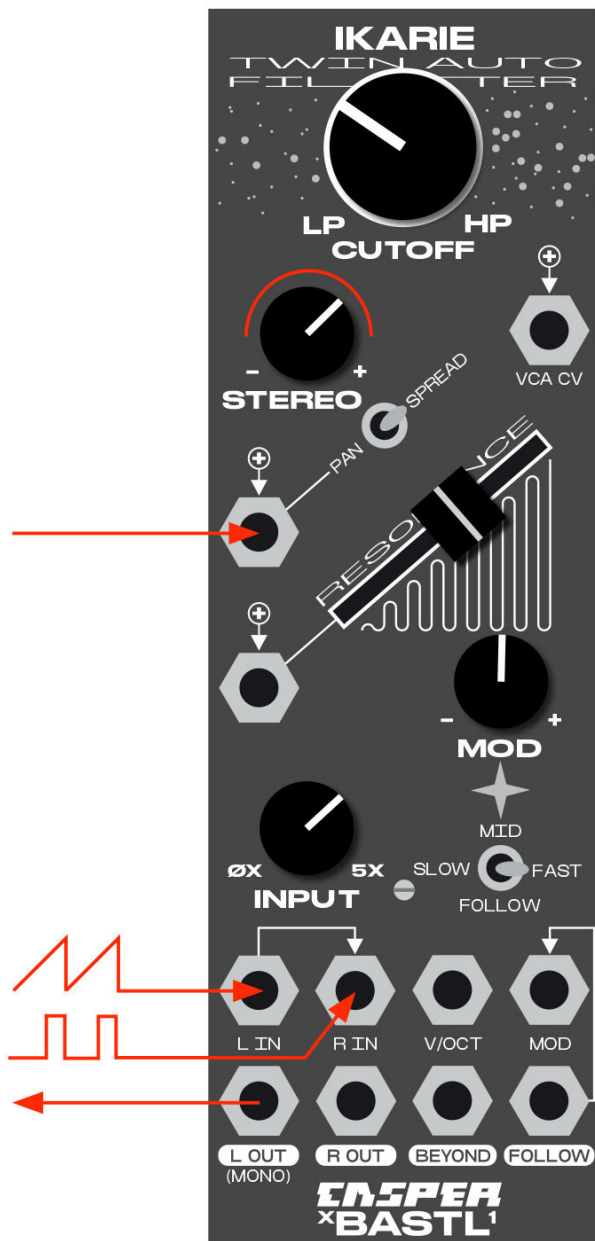
## ★POST FILTER RING MODULATOR

PAN 設定でステレオをオーディオレートにて変調し、BEYOND 出力を聴いてみましょう！



## ★ WAVEFORM CROSSFADING

STEREO の PAN モードは、左右のフィルターのレベル・バランスを取ります。L OUT のみをリスンすることで、フィルタリングの異なる波形間でクロスフェードすることができます。LFO またはオーディオレートで制御できます。





## ★AGGRESSIVE 24DB FILTERING

オーディオを L IN に接続し、L OUT を R IN にパッチし、R OUT に直列で接続すると、24dB のフィルタリングを出  
力できます。 INPUT ゲイン、レゾナンス、STEREO ディチューン、または高速のエンベロープフォロワーのモジュレ  
ーションをミックスに追加すると「残酷」なサウンドになります！

